

事業名

みやももカフェ及び、 見守りキーホルダー作成による 見守り活動

事業概要

- 「お出かけ安心キーホルダー」の普及により、高齢者や障がい者などが安心して外出して活動できるようにする。
- 地域に住むすべての高齢者や障がい者などを対象に、映画上映や健康体操などを行う「みやももカフェ」(サロン)を実施。参加者に「お出かけ安心キーホルダー」登録者を募集。
- 中野区の「見守り対象者名簿」の記載者の住まいを訪問して「みやももカフェ」や「お出かけ安心キーホルダー」を案内。

実施期間 令和4年2月10日～3月24日
参加人数 約300名
事業総額 約13万5,600円
(地域の底力発展事業助成金 13万円)

役割分担

《みやももカフェ(6～12名)》
カフェの運営(コンサート、健康体操等)、キーホルダーの説明、申込用紙記入のサポート
《「見守り対象者」訪問(12名)》
「見守り対象者」宅(約160軒)に見守り訪問。みやももカフェとキーホルダー作成を告知、キーホルダーのお届け。



「お出かけ安心キーホルダー」
キーホルダーのQRコードには緊急連絡先などを登録。外出先での急な体調不良、救急搬送、認知症による徘徊など、いざという時に、迅速に身元確認ができる。

主な経費(助成対象)

- 物品購入費
アクリル板、除菌検温スタンド、キーホルダー、ラベルシール
- 印刷経費
記入票印刷、キーホルダー印刷

実施までの主な流れ

- 令和4年
- 2月10日 初回打ち合わせを実施
スケジュールと役割を確認
 - 2月12日 お出かけ安心キーホルダーとみやももカフェについて町会掲示板と桃園区民活動センター内で事業周知
 - 2月17日 みやももカフェ(シアター)でキーホルダーを告知、申し込み相談
第2回打ち合わせを実施
 - 2月18日 キーホルダーの準備・作成(以降2月25日、3月5日、7日、18日、22日、23日に実施)
 - 2月24日 町会の「見守り対象者名簿」宅を見守り訪問して「みやももカフェ」とキーホルダーの作成についてお知らせ
 - 3月24日 見守り訪問を実施し、キーホルダーお渡し後、反省会

事業の実施内容

● 「みやももカフェ」

実施場所
桃園区民活動センター



健康体操のようす

令和4年

2月17日 映画「라이어라이어」の上映と健康体操を開催。参加者約30名に「お出かけ安心キーホルダー」の利用案内と申し込み相談を実施。

3月3日 バイオリン・ピアノ演奏と健康体操を開催。参加者約50名にキーホルダー利用案内と申し込みを実施。(約100名申込(家族分含む))

3月17日 映画「いつでも夢を」の上映と健康体操を開催。参加者約50名。3月3日の申込者にキーホルダーを渡し、さらに申し込み受付を実施。(約100名申込(家族分含む))

● お出かけ安心キーホルダー作成による見守り活動



見守り活動に出かける前に打ち合わせをする町会の皆さん

★見守り訪問（1回目）

2月24日 町会内の「見守り対象者名簿」宅（約160軒）を見守り訪問して「みやももカフェ」と「お出かけ安心キーホルダー」についてお知らせ。（約50名申込。その後、随時約50名申込(各家族分含む)）

★見守り訪問（2回目）

3月24日 約70軒を見守り訪問し、キーホルダーをお渡し。

事業による成果・効果

他地域や民間事業者へも取組が広がる

「お出かけ安心キーホルダー」は、行政を介さず、QRコードを読み取るだけでキーホルダーを持ち歩く人の緊急連絡先が分かることが大きな特長。情報の入力とQRコードの作成のみでキーホルダーが完成するため、高齢者や障がい者などが外出しやすい環境を住民主体で実現できる。仕組みを提供する側の負担が少なく、高齢者などのより安全な外出を実現できることから、宮桃町会方式を見習い、他地域や民間事業者でも導入するところが見られている。キーホルダーの登録者やその家族からは、「外で楽しむ機会を増やせるので健康の維持にいい」「キーホルダーを持っていると安心」などの声が上がっている。

事業を振り返って

高齢者などが外出しやすい環境を住民主体で実現

「お年寄りが元気に外出できる環境を、行政の手の届かない先で住民が主役になって実現できます」と宮桃町会支えあい推進部の青木理恵子さん。お出かけ安心キーホルダーの仕組みを考えるのに、皆で1年ほどかけたという。「緊急連絡先の見つからない高齢者などもあるので、そのような場合には相談に乗って、連絡先を見つけてあげることが必要です」と語る。

町会としては、キーホルダーの普及以上に、「告知」や「お届け」などを通じた見守り訪問を大切な目標としてこれからも活動を続けていく。